

# 多摩市まるっと協議会の活動と今後の体制

多摩市では、2017年度より民間団体に第1層コーディネーターを委託し活動をリードしてきたが、今後第2層との連携を強化しより地域住民の課題解決につながる取組みを展開する体制整備と地域活動を報告する。

## 多摩市まるっと協議体（第1層協議体）の活動と成果、今後の展開

生活支援体制整備事業（第1層SC）受託団体 一般社団法人多摩マイライフ包括支援協議会



東京都多摩市（2019年5月1日現在）  
◆人口：148,964人 ◆高齢化率：28.2%  
◆要介護認定率：13.5%  
多摩ニュータウンのまち。高齢化が急速に進行中。

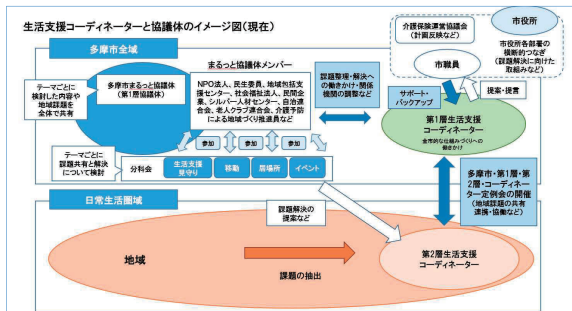
### ◆経過

2015年度 生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置

2017年度 「多摩市まるっと協議体」に名称変更

- 構成メンバー：社協、シルバー人材センター、老人クラブ、自治会連合、社会福祉法人、地域包括、民生委員代表、医師会、一般企業等 ※18団体で構成

### ◆まるっと協議体の位置付け



### ◆地域懇談会で抽出した地域課題から分科会方式で解決方法を検討

- ①居場所、②移動、③生活支援・見守り
- ④イベント（啓発）

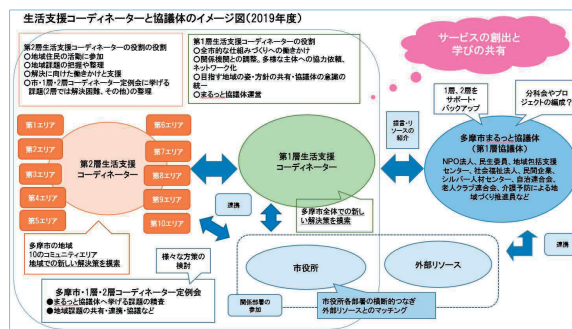
開催状況	2017年	2018年	成果
まるっと協議体（全体会）	4回	3回	分科会の取組みを共有
居場所分科会	6回	7回	モデル事業実施
移動分科会	7回	10回	地域選定し懇談会開催
生活支援・見守り分科会	5回	7回	生活サポーター養成講座実施
イベント分科会	8回	9回	健幸・支えあいフォーラム開催

第1層協議体で地域課題を解決できる？  
↓  
検討から実践へ展開しよう！

### ◆地域課題解決へ向けた合意と課題の再整理へ⇒第1層・2層・地域のリーダーを集めた研修会開催



参加者約100名  
地域ごと（10カ所）に課題を共有し、解決の方向性を検討・合意



### ◆2019年度

まるっと協議体は、全市的な検討をする全体会と分科会に加え、地域課題解決へ向けて第2層の支援活動の強化を目的に課題解決プロジェクトチーム方式を導入

- ◆地域を限定した移動の仕組み開発を推進
- ◆住民主体による訪問型サービスの担い手の拡大 全市的募集から地域を限定して発掘
- ◆地域住民啓発活動の推進・・・など

サービスの創出と学びの共有へステップアップ！

A 体制整備状況 ②協議体の編成